

製品名: ErbB-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10572**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	148kDa

抗原情報

遺伝子名	ERBB3
別名	ERBB3; HER3; Receptor tyrosine-protein kinase erbB-3; Proto-oncogene-like protein c-ErbB-3; Tyrosine kinase-type cell surface receptor HER3
遺伝子 ID	2065.0
SwissProt ID	P21860
免疫原	抗血清はヒト HER3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1191-1240

背景

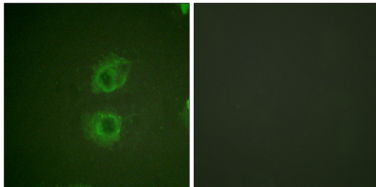
この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼである上皮成長因子受容体（EGFR）ファミリーのメンバーをコードしています。この膜結

合タンパク質はニューレグリン結合ドメインを有していますが、活性キナーゼドメインは有していません。そのため、このリガンドに結合できませんが、タンパク質リン酸化を介して細胞内にシグナルを伝達することはできません。しかし、キナーゼ活性を持つ他のEGF 受容体ファミリーメンバーとヘテロ二量体を形成します。ヘテロ二量体化は、細胞増殖または分化につながる経路を活性化します。この遺伝子の増幅および / またはタンパク質の過剰発現は、前立腺がん、膀胱がん、乳がんなど、多くのがんにおいて報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。1つのアイソフォームは膜間領域を欠いており、細胞外に分泌されます。この形態は、m 触媒活性を調節する働きをする： $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。疾患：ERBB3 の欠陥は、致死性先天性拘縮症候群 2 型 (LCCS2) [MIM:607598]の原因である。これはイスラエル・ベドウィン多発性拘縮症候群 A 型とも呼ばれる。LCCS2 は、脊髄前角の萎縮を伴う新生児致死性関節拘縮症の常染色体劣性神経性形態である。LCCS2 症候群は、多発性関節拘縮、脊髄前角萎縮、および顕著に膨張した膀胱という特有の症状を特徴とする。この表現型は脊髄神経障害を示唆する。疾患：ヒト乳腺腫瘍の一部で過剰発現する。ドメイン：受容体の細胞質部分は、多くのシグナル伝達タンパク質の SH2 または SH3 ドメインと相互作用する可能性がある。機能：ニューレグリンおよび NTAK に結合し、活性化される。PTM：リガンド結合によりチロシン残基のリン酸化が促進され、ホスファチジルイノシトール 3-キナーゼの p85 サブユニットとの結合が促進される。類似性：タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。EGF 受容体サブファミリー。類似性：1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット：他の ERBB 受容体とヘテロ二量体を形成する可能性あり。CSPG5、PA2G4、MUC1 と相互作用する。組織特異性：上皮組織および脳。

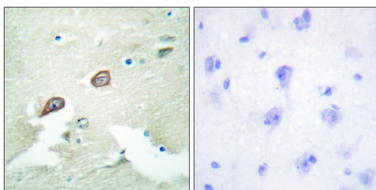
研究分野

ErbB_HER;カルシウム;エンドサイトーシス;

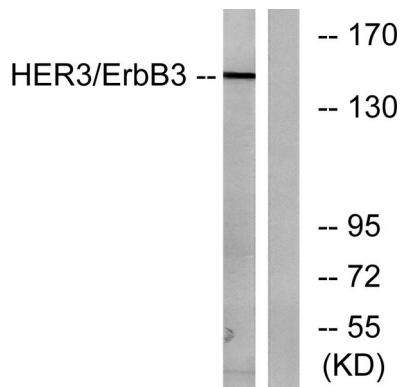
画像データ



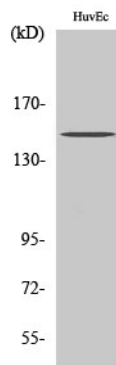
HER3 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



HER3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HER3 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ErbB-3 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。